

事業所名	ひだまり（児童発達支援・放課後等デイサービス）	支援プログラム	作成日	令和6年	11月	1日
法人（事業所）理念	【行動】地域の皆様とのつながりを大切に行動します 【感謝】感謝の気持ちを大切に笑顔の輪を広げていきます 【共感】相手の立場に立ち共感・信頼づくりを目指します 【向上】常に志と向上心を持ち業務の資質向上に努めます					
支援方針	一番大切なのは、知識や技能を身につける過程の中で、自信や自己肯定感を育むことです。達成感、充実感を得ることができてこそ、“頑張ってみよう！”という意欲が生まれます。また、発達に課題のある子の『杖』は『人』です。人と適切に気持ちよく関わる力が必要です。子ども達が楽しく活動できるように工夫し、ご家族とも伴走しながら、心が育っていくよう願って支援します。					
営業時間	9時	00分	から	18時	00分	まで
	送迎実施の有無		あり なし			
本人支援	健康・生活	施設外学習（戸外でのルールを守る、安全に行動する、交通ルールを守る、身体を動かす） クッキング（簡単な調理の体験をする、安全に調理器具を使う、食への興味へ繋げる） 防災訓練（避難訓練、防災センターへ見学に行き、学びの機会を設ける）				
	運動・感覚	制作（手順の要点を細分化して提示し結ぶ・掴む・絞る・巻くなどの動きが含まれる工作活動、手先のトレーニング） 個別課題（ハサミ練習、ボタンやスナップ、ファスナー、キャップの開閉、洗濯バサミ、箸、スプーン、トンガ） 体操（動作模倣・ボールを使った遊び等）				
	認知・行動	外出（送迎時含む）（車内でのルールを守る） 個別課題（文字、数、SST、表情・気持ちの理解等、楽しく行える課題の提供） 視覚支援（スケジュール提示、タイマー提示で自立を促す）				
	言語 コミュニケーション	集団活動（表情、言葉のイントネーション、うなずきなどの動作、会話のキャッチボールなどトータル的なコミュニケーション能力を養う） 集まり（日直、話を聞く、座る、見る、発表をする） 自己紹介（名前、学校、学年、好きなものなどを伝える）				
	人間関係 社会性	集団スキル・園生活・学校生活・地域生活・社会的スキルに関するプログラムを実施 ごっこ遊び、お買い物学習、施設外学習など				
家族支援	児童の発達/特性に関する状況・成果/相談・助言等 目標設定に関する意図・相談・助言等 プログラム内容・意図・成果/相談・助言等 補助・手法に関する相談・助言等 個々の子どもに関する事項、支援内容に関する説明/相談/助言など面談にて実施 ①児童の発達に関する相談・助言等 ②支援内容に関する相談・助言等 ③家庭生活に関する相談・助言等 ④集団生活に関する相談・助言等 ⑤きょうだい児に関する相談・助言等 ⑥制度に関する相談・助言等 家族のニーズに応じ、①から⑥などの相談援助を事業所で実施					
移行支援	インクルージョンに向けた取組の推進 ○事業所で支援し、習得した行動を園や学校、家庭などで同様の行動ができるように、般化を目指した支援を行う ・練習した場面でないところでも適切な行動ができる ・練習と違った指示でも適切な行動を引き出せる ・強化子がなくても適切な行動をしつづけられる ○ひだまりでは、インクルーシブの観点から地域社会の中で積極的に活動することを推進するため、地域の公園を活用し、集団活動を行う ○保育所や学校等への訪問や受け入れの際に行った会議等を通じて、児童の心身の状況や生活環境などの情報連携を実施					
地域支援・地域連携	・関係各所との連携（相談支援事業所、保健所、医療機関、こども家庭センター等） ・教育機関の関係者などとの連携 ・自立支援協議会への参加					
職員の質の向上	管理者研修 リーダーの役割の確認 『チームを介して成果につなげる』⇒（人を早く育て、動かす・適切に判断し、成果を生む・効果的にコミュニケーションする） 児童発達支援管理責任者・保育士・児童指導員研修 ・療育についてスキルアップの研修 全社員向け研修 ・虐待防止（身体拘束）に関する研修 ・事故防止に関する研修 ・感染症に関する研修 ・防犯に関する研修 ・災害に関する研修					
主な行事等	・季節の制作（壁面制作・母の日・父の日・敬老の日・羽子板作りなど） ・行事（豆まき・お花見・プール・お月見・ハロウィン・クリスマス会） ・お買いもの学習 ・施設外学習 ・防災訓練					